



# IR説明会資料 (2013年3月期決算)

株式会社 極 洋 (1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

## ■ 2013年3月期概要説明

トピックス	3P
企業集団の概況	5P
決算概要	6P-18P

## ■ 2014年3月期業績予想及び施策

基本方針	20P
連結・単独業績予想	21P
事業セグメント別連結売上高・営業利益予想	22P
事業セグメント別施策	23-28P
設備投資計画	29P

# 2013年3月期 概要説明

- 中期経営計画「パワーアップ キョクヨー 2015」スタート (2012年4月)
  - ・3つの基本戦略:「グローバル戦略」「加工戦略」「シナジー戦略」
  - ・2015年3月期 売上高2000億円、営業利益50億円を目標
  
- CP増額発行 (2012年5月)
  - ・50億円→100億円
  
- キョクヨーマリン愛媛(株)「本鮪の極」初出荷 (2012年9月)



- 極洋日配マリン(株) を設立 (2012年11月)
  - ・本鮪の完全養殖を事業化

□ (株)エイペックス・サンヨーへの資本参加 合意 (2012年12月)

所在地 : 兵庫県姫路市

営業内容 : 水産加工品及び惣菜品の製造・販売

・ 2013年4月1日 資本参加 / (株)エイペックス・キョクヨーに商号変更

□ 極洋製品 5品、ジョッキ製品31品、エス・ティー・アイ製品2品が  
ファスト・フィッシュに認定 (2012年8月ー2013年 2月)



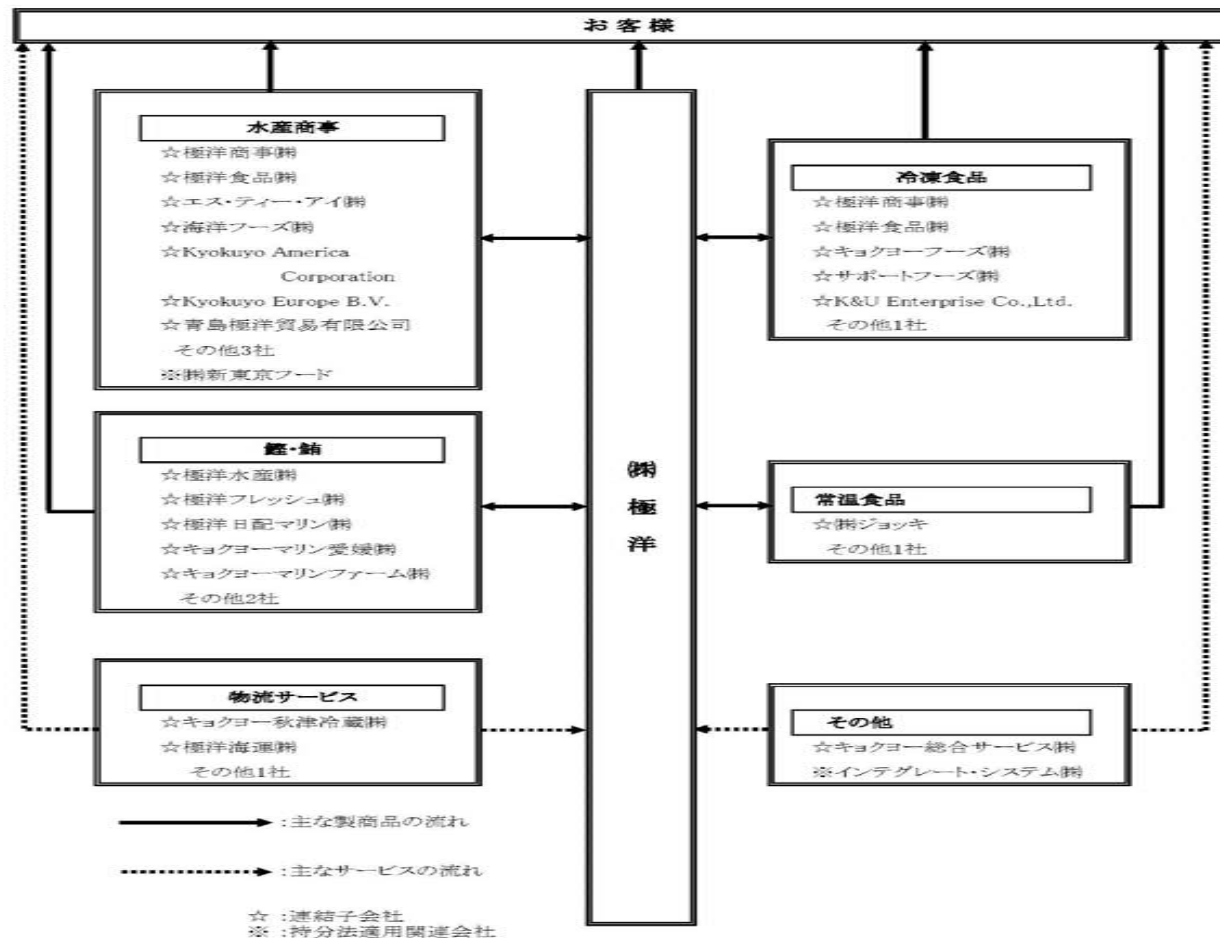
□ 子会社グループ再編を発表 (2013年 2月)

・エス・ティー・アイ(株)を、(株)新東京フードに吸収合併 (合併期日 2013年4月1日)

□ 極洋厚生年金基金の代行返上を決議 (2013年 3月)



# 企業集団の状況(2013年3月末現在)



極洋及び連結子会社 26社、持分法適用関連会社 2社、関連会社 1社より構成

## 1. 連結損益計算書

### 前期比減収増益 当初予想比減収減益

(単位:百万円)

	12年3月期	13年3月期	前期比		当初予想比	
			(増減金額)	(増減比率)	当初予想	(増減比率)
売上高	181,885	178,046	△3,839	△2.1%	185,000	△3.8%
営業利益	1,636	2,324	687	42.0%	3,200	△27.4%
営業外収益	574	522	△52	—	—	—
営業外費用	503	584	81	—	—	—
経常利益	1,707	2,262	554	32.5%	3,100	△27.0%
特別利益	153	205	51	—	—	—
特別損失	19	62	43	—	—	—
当期純利益	423	1,269	846	200.0%	1,800	△29.5%

- ・当初予想は、12年5月11日に発表した13年3月期業績予想数値です。
- ・売上高は、上半期の落ち込みを下半期で取り戻すまでには至らず、前期実績に及びませんでした。
- ・営業利益は、海外まき網事業の魚価が高値で推移したこと、冷蔵運搬船事業の損失を最小限にとどめたことから、前期を上回りました。
- ・営業外収益、費用の前期比増減は、外国為替差損益の影響等によります。
- ・支払利息は、前期比42百万円減少となりました。
- ・特別利益は、固定資産処分益等によります。
- ・当期純利益は、税金費用の減少により前期を大きく上回りました。



# 2013年3月期 決算概要

## 2. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

### 主な増減内訳(対前期比)

	資産の部		
	12年3月末	13年3月末	前期比
流動資産	64,824	62,467	△ 2,357
固定資産	20,113	20,778	665
資産合計	84,937	83,245	△ 1,692
	負債の部		
	12年3月末	13年3月末	前期比
流動負債	58,730	49,345	△ 9,384
固定負債	8,995	15,216	6,220
負債合計	67,725	64,562	△ 3,163
	純資産の部		
	12年3月末	13年3月末	前期比
純資産合計	17,212	18,683	1,471
負債純資産合計	84,937	83,245	△ 1,692

#### 流動資産

【受取手形・売掛金】 △11億円

【商品及び製品】 △23億円

#### 固定資産

【有形固定資産】 △2億円

【投資その他の資産】 11億円

・投資有価証券 9億円

#### 流動負債

【短期借入金】 △160億円

【CP】 50億円

#### 固定負債

【長期借入金】 53億円

【退職給付引当金】 6億円

#### 株主資本

【利益剰余金】 8億円

#### その他包括利益累計額

【その他有価証券評価差額金】 5億円



## 3. キャッシュ・フロー計算書(連結)

	12年3月期	13年3月期	当連結会計期間の主な内訳	
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円) △5,297	(百万円) 7,384	税金等調整前当期純利益	24億円
			減価償却費	16億円
			売上債権の減少	10億円
			たな卸資産の減少	16億円
			法人税等の支払	△11億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,006	△469	固定資産の取得	△9億円
			固定資産の売却	3億円
財務活動による キャッシュ・フロー	6,434	△6,614	短期借入金の減少	△162億円
			コマーシャルペーパーの増加	50億円
			長期借入金の増加	55億円
			配当金の支払	△5億円
現金及び現金同等 物に係る換算差額	△ 14	70		
現金及び現金同等 物の増減額	116	370		
現金及び現金同等 物の期首残高	3,322	3,438		
現金及び現金同等 物の期末残高	3,438	3,809		

## 4. (連結)経営指標

	12年3月末	13年3月末	前期比
純資産	17,212百万円	18,683百万円	1,471百万円
自己資本比率	20.0%	22.1%	2.1ポイント
商製品在庫金額	29,790百万円	27,426百万円	△2,364百万円
在庫回転日数	56.8日	58.8日	2.0日
有利子負債	475億円	423億円	△52億円
負債資本倍率(D/E レシオ)	2.7倍	2.3倍	△0.4ポイント
自己資本利益率(ROE)	2.5%	7.2%	4.7ポイント
総資産経常利益率(ROA)	2.1%	2.7%	0.6ポイント
売上高営業利益率	0.9%	1.3%	0.4ポイント
1株当たり純資産	161円52銭	175円54銭	14円02銭
1株当たり当期純利益	4円3銭	12円8銭	8円5銭
配当性向(%)	124.1%	41.4%	△82.7ポイント

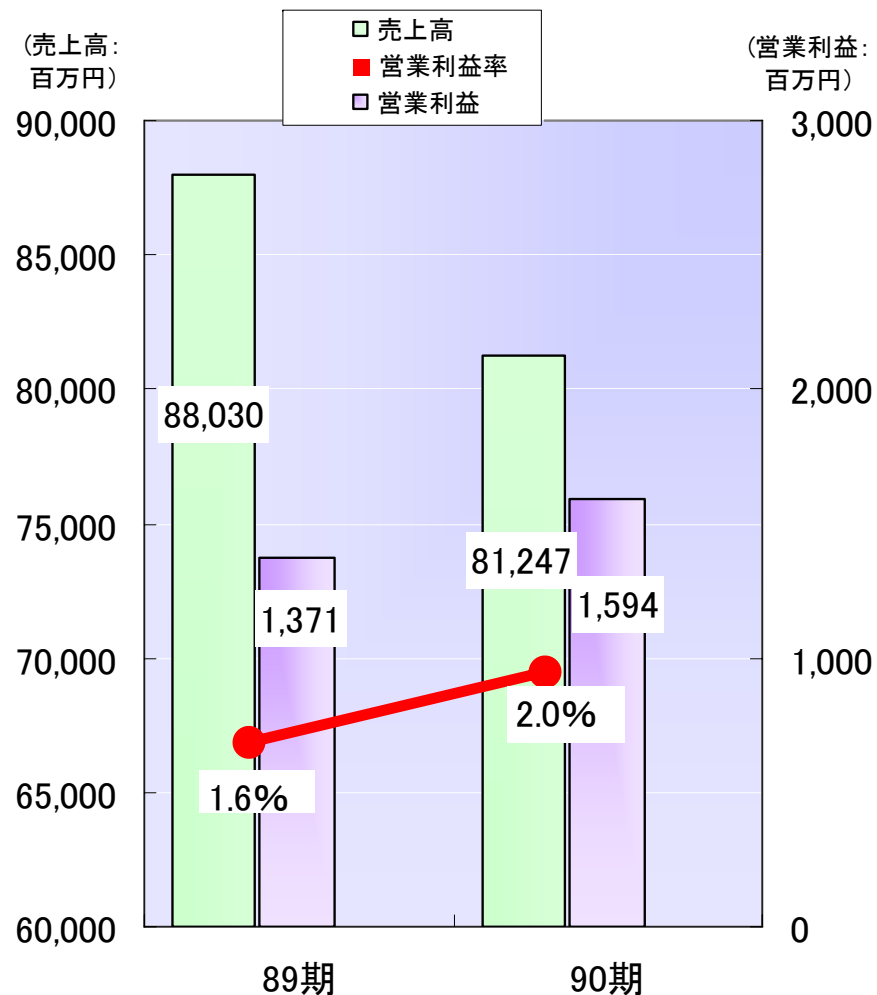
## 5. (連結)事業セグメント別売上高・営業利益(前期比較)

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	12年3月期 実績	13年3月期 実績	前期比	12年3月期 実績	13年3月期 実績	前期比
水産商事	88,030	81,247	△ 6,783	1,371	1,594	223
冷凍食品	48,640	50,566	1,925	546	314	△ 232
常温食品	14,380	15,490	1,109	230	144	△ 85
物流サービス	3,524	3,435	△ 89	△ 850	△ 324	526
鯉・鮪	27,231	27,238	6	634	900	266
その他・本部調整	77	67	△ 9	△ 295	△ 305	△ 10
合計	181,885	178,046	△ 3,839	1,636	2,324	687

## 6. (連結)事業セグメント別概況、売上高・営業利益率

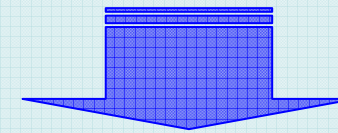
### (1)水産商事—水産物の買付・販売



①上半期：チリ銀鮭の供給過剰による市況下落が、他の魚種に波及し、全般的に市況低迷。

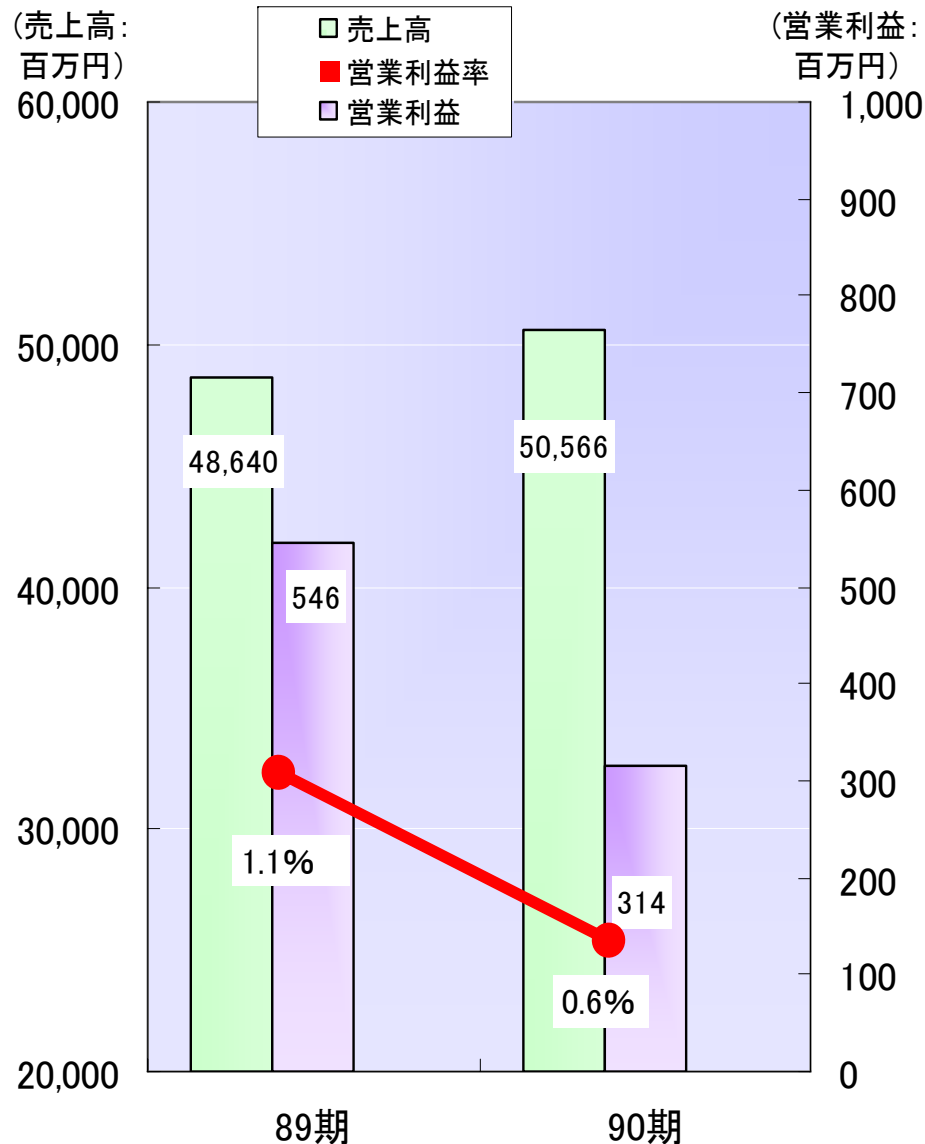
下半期：最大需要期の年末商戦が順調に推移。

② 加工原料の積極的な取り扱いと、付加価値商品（定塩さけ製品／カニ・海老の剥き身等）を拡販。



売上高は上半期の落ち込みを下半期でカバーするまでには至らなかったものの、利益は前期を上回った。

## (2) 冷凍食品・水産・調理冷凍食品の加工及び販売

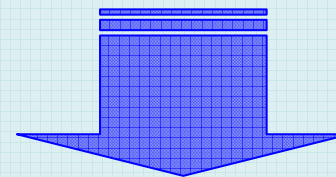


### 【水産冷凍食品事業】

- ① 寿司種・生食商材を、  
大手回転寿司チェーンや量販店等に拡販。  
[販売実績 (鯉・鯖含：207億円)]
- ② 骨なし切身、焼魚、煮魚等加熱用商品  
を老健食、宅配ルート向けに拡販。

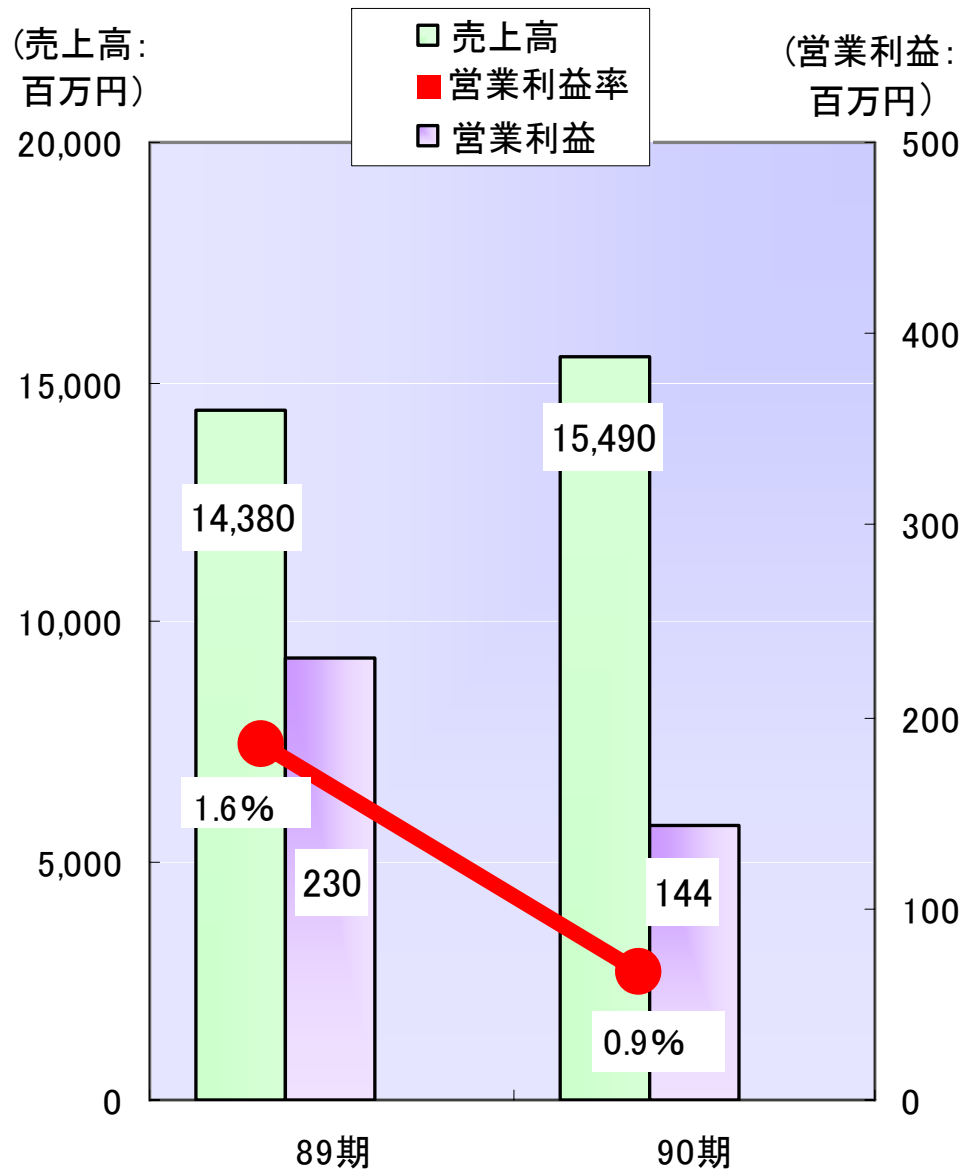
### 【調理冷凍食品事業】

水産フライ類や、畜肉製品などの惣菜類を  
量販店やコンビニ向けに拡販。



売上高は前期を上回ったものの、  
販売競争の激化、生産コストの増加などの  
影響を受け、利益は前期を下回った。

## (3) 常温食品一缶詰・珍味製品他の製造及び販売

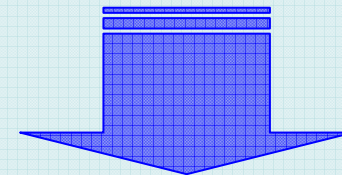


### 【缶詰】

- ① 生産設備の復旧が進んだ  
国内協力工場の水産缶詰を拡販。
- ② ツナ缶などの輸入缶詰、畜肉缶詰を拡販。

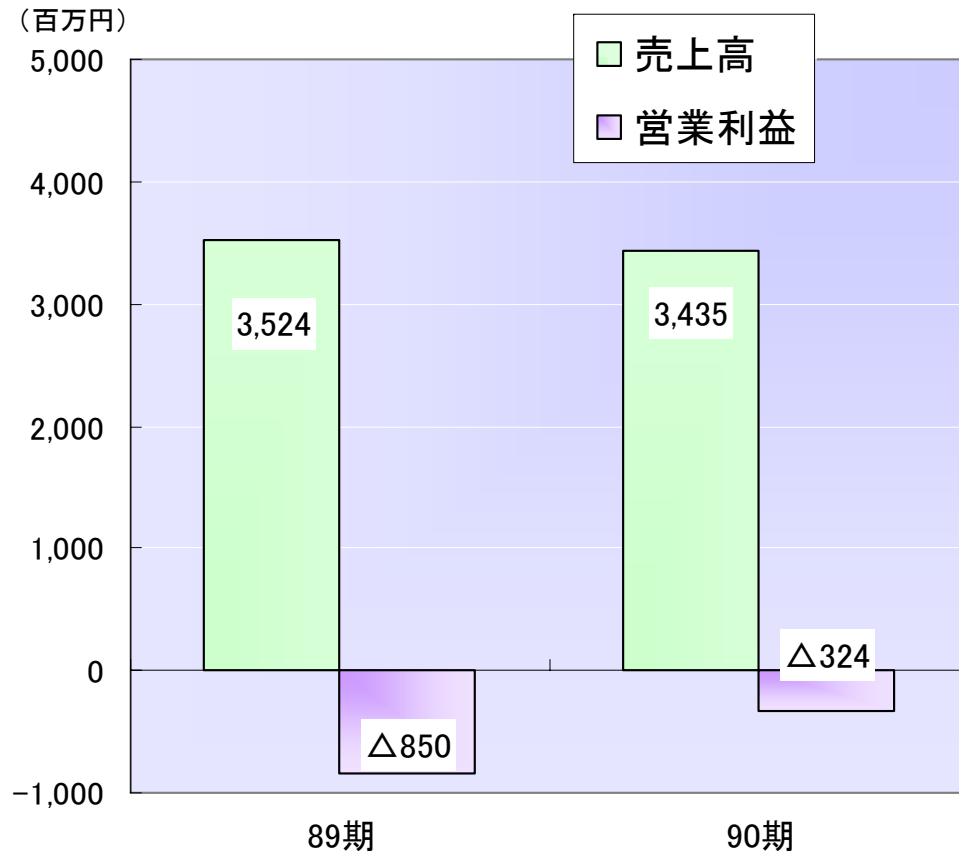
### 【ドライフード・海鮮珍味】

既存取引先への拡販を進めるとともに新規商材開発に努める。



売上高は前期を上回ったものの、原料価格上昇により利益は前期を下回った。

## (4) 物流サービス—冷蔵倉庫事業、冷蔵運搬船事業



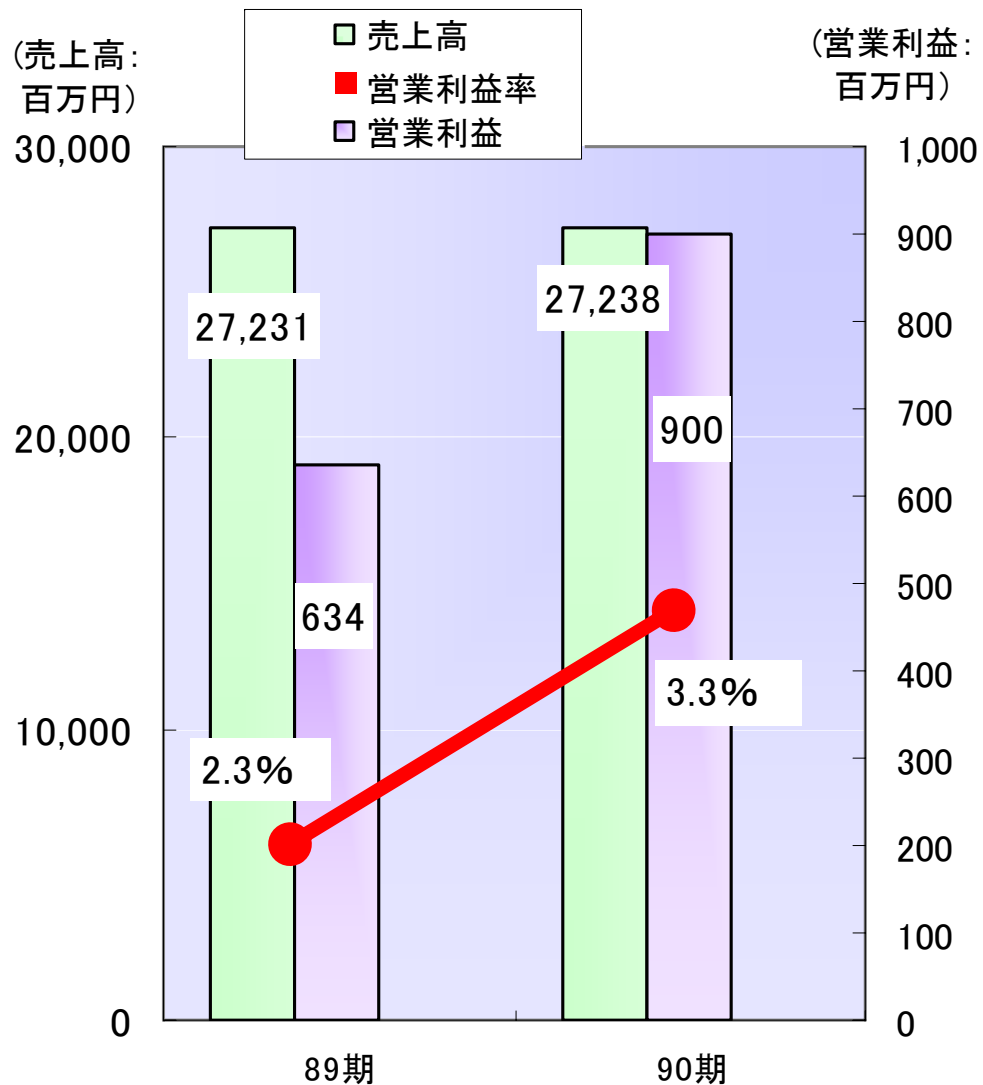
### 【冷蔵倉庫事業】

原料保管中心から加工食品なども取り扱い、配送機能も含めた物流型への対応に努める。

### 【冷蔵運搬船事業】

運賃市況が低迷するなか、船隊編成をスリム化し、効率的配船、コスト削減に努めるとともに、年間契約の積極的獲得に注力し、損失幅が大幅に縮小。

## (5) 鰹・鮪—海外まき網事業・養殖事業・鰹鮪加工及び販売事業—



### 【海外まき網事業】

水揚げ数量が増加し、魚価も堅調に推移。

	12年3月期	13年3月期	前期比
水揚げ数量(千トン)	23	32	9
水揚げ金額(億円)	43	60	17
単価(円/KG)	187	185	△ 2

### 【養殖事業】

順調な生育状況と、  
キョクヨーマリン愛媛の出荷開始も  
あり、好調に推移。

### 【鰹鮪加工及び販売事業】

原料高、製品価格の競争激化の影響を  
受け、苦戦。



## 7. 単独損益計算書

売上高・営業利益・経常利益は前期比、当初予想比ともに及ばず、  
当期純利益は前期比では上回るも、対当初予想比で及ばず。

(単位:百万円)

	12年3月期	13年3月期	前期比		当初予想比	
			(増減金額)	(増減比率)	当初予想	(増減比率)
売上高	165,737	160,610	△ 5,126	△ 3.1%	166,000	△ 3.2%
営業利益	1,809	990	△ 818	△ 45.2%	2,300	△ 56.9%
経常利益	1,881	1,392	△ 489	△ 26.0%	2,300	△ 39.5%
当期純利益	672	806	134	20.0%	1,400	△ 42.4%

- ・ 当初予想は、12年5月11日に発表した13年3月期業績予想数値です。
- ・ 売上高は、水産商事事業、鰹・鮪事業は前期比減収、冷凍食品事業、常温食品事業は前期比増収。
- ・ 営業利益は、水産商事事業は上半期の急激な市況変動を受け、冷凍食品事業、鰹・鮪事業は原料買付価格高騰などの影響で減益、常温食品事業はほぼ前期並みにとどまる。

## 8. (単独)魚種別品種別 売上数量・金額・単価

### (1)水産商事事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円//KG)

	12年3月期			13年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鮭鱒	36,103	23,079	639	37,433	19,859	531	1,330	△ 3,220	△ 108
南方魚	7,257	4,449	613	7,260	4,726	651	3	277	38
北洋魚	40,728	19,253	473	38,014	16,197	426	△ 2,714	△ 3,056	△ 47
エビ	20,892	18,405	881	19,620	17,311	882	△ 1,272	△ 1,094	1
カニ	3,927	7,893	2,010	4,376	7,719	1,764	449	△ 174	△ 246
鯆鯖鰯	8,385	2,666	318	8,780	2,595	296	395	△ 71	△ 22
魚卵	5,215	5,710	1,095	4,614	6,512	1,411	△ 601	802	316
その他	7,148	4,380	613	8,934	4,972	557	1,786	592	△ 56
計	129,655	85,835	662	129,031	79,890	619	△ 624	△ 5,945	△ 43

## (2) 冷凍食品事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	12年3月期			13年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
水産冷凍食品	36,290	31,696	873	40,842	34,040	833	4,552	2,344	△ 40
調理冷凍食品	25,576	14,242	557	25,345	14,113	557	△ 231	△ 129	△ 0
計	61,866	45,938	743	66,187	48,153	728	4,321	2,215	△ 15

## (3) 常温食品事業

(金額:百万円)

	12年3月期	13年3月期	前期比
缶詰・珍味製品他	9,826	10,531	705

## (4) 鰹・鮪事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	12年3月期			13年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鰹鮪(買付・加工品)	23,028	23,372	1,015	23,870	21,279	891	842	△ 2,093	△ 124

# 2014年3月期業績予想及び施策

## 1. 基本方針

中期経営計画「パワーアップキョクヨー2015」の第2年度として、

「グローバル戦略」、「加工戦略」の更なる深化、  
「シナジー戦略」の最大限発揮



最終年度(2015年3月期)の目標達成に向けた弾みの年に

最終年度の目標:売上高	2,000億円
営業利益	50億円
ROE	10%
自己資本比率	30%
D/Eレシオ	2倍以内

## 2. 連結業績予想

(単位:百万円)

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	前期比	
			増減	増減率
売上高	178,046	177,000	△ 1,046	△ 0.6%
営業利益	2,324	3,300	975	42.0%
(営業利益率)	1.3%	1.9%	0.6%	—
経常利益	2,262	3,200	937	41.4%
(経常利益率)	1.3%	1.8%	0.5%	—
当期純利益	1,269	1,800	531	41.8%

## 3. 単独業績予想

(単位:百万円)

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	前期比	
			増減	増減率
売上高	160,610	167,000	6,389	4.0%
営業利益	990	2,300	1,310	132.2%
(営業利益率)	0.6%	1.4%	0.8%	—
経常利益	1,392	2,200	808	58.0%
(経常利益率)	0.9%	1.3%	0.4%	—
当期純利益	806	1,700	894	110.7%

## 4. 事業セグメント別連結売上高・営業利益予想

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	13年3月期 実績	14年3月期 予想	前期比	13年3月期 実績	14年3月期 予想	前期比
水産商事	81,247	78,000	△ 3,247	1,594	1,600	6
冷凍食品	50,566	52,000	1,434	314	900	586
常温食品	15,490	15,000	△ 490	144	300	156
物流サービス	3,435	3,000	△ 435	△ 324	0	324
鰹・鮪	27,238	29,000	1,762	900	1,000	100
その他・本部 調整	67	0	△ 67	△ 305	△ 500	△ 195
合計	178,046	177,000	△ 1,046	2,324	3,300	976

## 5. 事業セグメント別施策

### (1) 水産商事事業

#### 1) 付加価値商品の開発、販売ルートの開拓

○消費者のニーズを的確に捉え、お客様の望まれる商品の開発を進める。

#### 2) 安心・安全な商品の開発・安定供給

#### 3) 資源へのアクセスを考慮した仕入れルートの確立

○水産物に対する世界的な需要増に対応するため、資源に根ざしたサプライヤーとの連携を強化する。

#### 4) 海外販売の強化

- 三国間貿易の拡大
- 海外マーケットの深耕

#### 5) 在庫管理の徹底

○市況状況を適切に把握し、適時適量の在庫管理を徹底する。



## (2) 冷凍食品事業

### 1) 生食・寿司商材更なる強化

- 既存商品の見直しと新規商材の投入
- 情報共有化によるグループ会社全体での取り組み
- コスト競争力の強化・品質の向上

### 2) 商品開発力の強化

- 価格訴求品の開発と市場導入、差別化商品開発のスピードアップ
- 生産の効率化によるコストダウン
- 市販冷凍食品事業の立ち上げ

### 3) 国内外の生産拠点の見直し

- 最適な生産拠点の選択
- 商品の安定供給と商品ラインアップの充実

## (3) 常温食品事業

### 1) 原料から生産・販売までの一貫体制の充実

- グループ会社所属まき網船「わかば丸」のカツオ原料を使用した差別化商品の  
拡販によるマーケットシェアの拡大

### 2) 販売ルート of 拡大

- 業務ルートの開拓と中部以西への商圏の拡大

### 3) 商品開発力の強化

- 高付加価値商品(レトルト商品、鍋用商品、ギフト商品)の投入
- 関係会社との協業によるグループの強みを活かした新商品開発の充実

## (4) 物流サービス事業

### 【冷蔵倉庫事業】

- 保管・配送のロジスティック機能の拡大・充実
- 保管倉庫の老朽化対策による業務の効率化
- 水産品・畜産品の積極的集荷

### 【冷蔵運搬船事業】

- スリム化した船隊編成の中での効率的運航の徹底
- 安定航路を維持するべく、年間契約の獲得
- 一層の経費削減による収支の改善

## (5) 鯉・鮪事業

### 【海外まき網事業】

- 年間を通じた安定操業
- 海外合弁会社との連携強化
- 漁獲目標:25,000トン

### 【養殖事業】

- 高知、愛媛2拠点による安定供給  
販売計画:500トン
- 人工孵化事業安定化の推進  
極洋日配マリン(株)の生産体制構築

### 【加工及び販売事業】

- グループ工場における生産ラインの強化と加工の効率化
- 品質・価格を見極めた海外養殖鮪の取り扱い強化
- 地中海・オーストラリア・メキシコ本鮪・インド鮪の取扱強化  
取扱計画:4,000トン

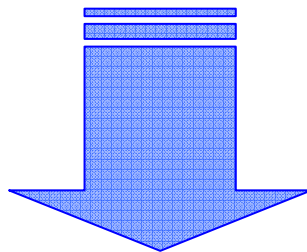
## 市販商品事業の拡大

### ○6月11日 新ブランド発表

- ・生活者に親しみやすさを持ってもらえるブランド
- ・水産・食品のプロとしてのノウハウを活かした商品ブランド

### ○市販冷凍食品への本格参入

- ・4月1日 市販冷凍食品チーム発足



- ・2014年春、市販用冷凍食品の新商品発表

## 6. 設備投資計画

		通期合計
極洋	生産設備増強、改修	3億円
	IT関連	3億円
	その他	1億円
	計	7億円
関係会社	生産設備の増強、改修	7億円
	漁撈設備の増強、改修	2億円
	その他	3億円
	計	12億円

本資料は2013年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。したがって実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。



### 当資料に関する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部 電話03-5545-0703